

四国森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日：令和4年3月10日)

開催日及び場所		令和3年12月22日(水曜日) 四国森林管理局 3階局議室		
委員		中内 功 (弁護士) 白山 晃嗣 (公認会計士) 府川 一 (税理士)		
審議対象期間		令和3年7月1日～9月30日		
審議対象案件		94件 うち、1者応札案件 49件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
抽出案件		10件 うち、1者応札案件 3件 (抽出率 11%) (抽出率 6%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件 (抽出率 -%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	3件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	該当なし	
	業務	一般競争	2件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
			簡易公募型プロポーザル	該当なし
			標準型プロポーザル	該当なし
			その他の随意契約	該当なし
	物品・役務等	一般競争	4件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし	
		随意契約(その他)	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
	(特記事項)		なし	

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問それに対する回答等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価落札方式による入札結果に、評価点及び評価値が表示されていないものがあるのはなぜか。 ・ 造林事業の入札結果を確認したところ、再度入札を含め4回も入札を行っているものがあるが、再度入札を行ったとしても4回は多くないか。 ・ 航空レーザ測量及び解析業務については5者から応札があり、この5者ともが予定価格に対して80%台の金額で応札しているが、本業務の予定価格の積算については、妥当なものだったのか。 ・ 車両の調達を総合評価落札方式により行っているのはなぜか。 ・ 入札を総合評価落札方式により行う場合は、評価値により落札者を決定することだが、この評価値についてはどのように算出するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価落札方式の入札であっても落札は予定価格の範囲内であることが条件であり、入札の結果、応札金額が予定価格を上回っている場合は、評価値は計算していない。 ・ 治山や林道の工事については入札公告等において原則2回までとしているが、生産、造林事業については、入札回数を明確に定めたものがなく、入札執行官等の判断により3回以上行うといったこともある。 造林事業については、事業を実施するにあたり適した時季があるため、入札を打ち切り再公告となると事業完遂までの期間が短くなってしまいうこともあり、状況によっては複数回の再入札を行わざるをえないこともある。 ・ 予定価格の積算については、積算要領等に基づき適正に行われており、妥当なものと考えます。 また、応札に参加いただいた5者は、全国でも実績のある者であり、精度の高い積算ができるものと思われるが、今回については、各々が落札することを重視した結果、このような状況となったものと考えます。 ・ 「国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律」等の政府方針もあり、車両の調達については、価格に加えて環境性能（燃費）を総合的に評価することとしているためである。 ・ 評価値の算出については、応札者から提出のあった技術提案書等に基づき算出された評価点を応札金額で割って算出する除算方式と入札価格に応じて算出した価格点に技術提案書等に基づき算出された技術点を足して算出する加算方式がある。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し森林管理局長が講じた措置]	特になし	